

# (仮称) 厚別南・青葉地区義務教育学校新築等に係る説明会 議事概要

- 日 時：令和6年3月22日（金） 18時30分～20時35分
- 場 所：札幌市立新札幌わかば小学校 体育館
- 出席者：地域住民、保護者等 ～ 約50名
  - 札幌市教育委員会生涯学習部学校施設課 ～ 6名
  - 札幌市教育委員会学校教育推進課 ～ 4名
  - 札幌市子ども未来局子ども育成部子ども企画課 ～ 1名
  - 札幌市都市局建築部建築工事課 ～ 2名
  - 岡田設計株式会社（基本・実施設計受託者） ～ 2名
  - 札幌市立新札幌わかば小学校、札幌市立青葉中学校  
各校長・教頭・教諭 ～ 6名

## 1 開会あいさつ

～ 札幌市教育委員会生涯学習部学校配置マネジメント担当課長

- 新しく設置予定の義務教育学校の施設が、子どもたちの学びや、多様な交流の場として、よりよいものになるよう、学校関係者の皆様に加え、地域の皆様にも内容をぜひ知っていただきたいという趣旨で、本日の説明会を開催させていただくこととした。
- これまで「最短で令和9年度開校」ということを目指して準備を進めてきたが、近年の建築工事をめぐる社会情勢等の事情により、開校時期を令和11年度とせざるを得ない状況となった。早期の開校を期待されていた皆様には大変申し訳ない。
- この学校の新築計画の検討にあたっては、PTAの方々、地域の代表の方々、教職員の方々などをメンバーとして新築検討協議会というものを立ち上げていただき、私ども札幌市と一緒に、様々な検討を行ってきた。
- 本日は、その検討を踏まえた設計案を知っていただき、ご意見をいただきたい。

## 2 近年の整備事例及び新築計画案について【映像資料】

～ 札幌市教育委員会生涯学習部学校施設課施設整備係

### (1) 新築における施設整備の目標

- 「多様で柔軟な学習空間」、「健やかな学習・生活環境」、「地域との円滑な連携」、「環境への配慮」の4つの項目を目標として施設計画を行っている。

### (2) 近年の整備事例の紹介

- 写真をもとに、近年改築した学校において整備している多目的室（少人数対応、ICT対応）、バリアフリー対策、避難所としての整備、環境への配慮について説明。

### (3) 新築計画の概要

- 新札幌わかば小学校の既存校舎に増築棟を接続し、小中一体の義務教育学校を整備する（青葉中学校の校舎は、義務教育学校の校舎整備完了後に解体）。
- 増築棟に第2屋内運動場を整備する他、給食調理室や児童会館を併設する。
- サイクリングロードの南側の一部を道路区域から小学校敷地へと変更することで、校舎建築に必要な敷地面積を確保予定。
- 開校時期はこれまで「最短で令和9年度」としていたが、設計施工に要する期間などを検討した結果、令和11年度を予定。
- 事業スケジュールが遅れてしまう事情としては、建設工事現場における週休2日制の厳格化、近年の資材、燃料、人材の不足や物価上昇に加え、北海道新幹線延伸、千歳市の半導体関連工場建設等の大型工事の発注が重なり、準備期間や資機材の納期等に時間を要していること。
- 増築棟は3階建てで、既存校舎の1階から3階すべてで接続され、全階で行き来ができる。
- 既存の学校プールは解体し、低学年用グラウンドや遊具、教材園を整備。プール授業は学校外のプール施設の活用を想定。
- 児童生徒と車両の動線を分け、安全に配慮。
- 工事は、増築棟の新築工事、既存棟の改修工事、グラウンド整備の順で進める。

- 建物の特色としては、児童生徒の交流の場となるよう、増築棟と既存棟の各普通教室間に、「ホール」または「多目的室」を整備。
- また、児童会館の利用者が、学校の図書室なども利用できるよう近くに配置した上で、建物内での行き来ができるよう通路を整備。
- 第2屋内運動場は中学校級の規模で、避難所としての機能も確保。
- 既存校舎の改修では昇降口付近及び2階に、カウンセリング対応や、不登校児童生徒の対応にも使用できるスペースとして教育相談室などを3室計画。
- 増築棟の2階には、職員室の分室的に利用できる「ティーチャーコーナー」を札幌市立学校としては初めて整備。授業の準備の他、日常的な見守りや相談時の対応での利用を想定。
- 建物外部の整備としては、校舎からメイングラウンドである現在の中学校敷地へのアプローチについて、極力学校敷地内での移動となるよう整備、また出入口については防犯カメラを設置しての確認も検討している。
- また、学校の昇降口とは別に設置する児童会館の入り口までは「ひさし」を整備して雨天でも濡れずに行き来ができるようにした。
- 既存棟と増築棟に囲まれた場所を「低学年用グラウンド」として整備。

#### (4) パースイメージ

- 南西側の上空から俯瞰したイメージパースと、西側、新たな昇降口ができる方から実際の人の目線でのイメージパースで建物のイメージを説明。

### 3 質疑応答

#### (1) 質疑

NO	主な質問・意見の概要	回答
1	今回の計画案における各教室の配置については、どのような考え方で決まったのか？	基本的な考え方としては、2階にある職員室と同じフロアに特別支援学級と、1年生、2年生の低学年の教室を配置。その上で、8年生、9年生などの上級生と、低学年が（別棟ではあるが）同じフロアで

		<p>交流可能となるよう配置。</p> <p>中学生に相当する7～9年生の教室については教室の広さを広く設定できるよう増築棟に配置している。</p>
2	<p>中学校敷地の西側には現在フェンスが設置されているが、今回の工事でグラウンドになると、フェンスはどうか？道路と学校敷地の間にフェンスがあると安心感がある。</p>	<p>現在の中学校敷地と道路の間のフェンスについては、グラウンド造成後も設置する。</p>
3	<p>工事期間中はグラウンド、屋内運動場の使用についても大きな制限が出てくるかと思うが、どのように対応する想定か？</p>	<p>工事期間中にグラウンド・屋内運動場をどう使うのかは、今後、工事車両の動きなども踏まえ具体的に検討を進める。併せて、代替施設の利用などについても学校を中心に検討していく。</p>
4	<p>新札幌わかば小学校の「スポーツフェスタ」などのイベントや、中学校の部活についても工事期間には色々と制約が出ると思うが、それについてはどう考えているのか？</p>	<p>具体的な工事の計画を確定することと合わせて、学校と調整の上、できる限りの対応を検討する。</p>
5	<p>令和10年度の既存棟改修工事の間、子どもたちはどこで過ごすことになるのか？</p>	<p>既存棟改修工事前に完成している増築棟で対応する。</p>
6	<p>小学校の学級数は13学級の想定ということだが、今後学級数が増えてきた場合、どのように対応するつもりか？</p> <p>青葉小の跡地に若い世代が住むようなマンションが建つなど、今後児童数が増加する可能性もあるのではないか？</p>	<p>現在の設計で普通教室に転用できる余裕教室を3室想定。その範囲で対応可能と考えている。</p> <p>推計を大幅に超える児童生徒の増加となる場合は、対応の検討が必要だが、児童生徒数の増加は、学級数を増やす必要がある、少なくとも数年前の段階で人口動態として把握できるため、動向に注意し</p>

	<p>増築などの対応は可能なのか？</p> <p>増築棟が建設できるように学校の敷地の用途変更などもするべきではないか？</p>	<p>て対応を検討したい。</p> <p>用途地域の変更については、現状の指定というのがこの地域全体のまちづくりの考え方に基づいて指定されているものであり、変更には相当のハードルがあると考えている。</p>
7	<p>義務教育学校というもののイメージがはっきりしないが、小学校の1年生から中学校3年生にあたる9年生までが一緒の建物で過ごすというのは、小さい子供にとってはストレスになるのではないか？</p> <p>特に保健室が1つしかなく、1年生と9年生が同じ保健室を使用するというのに違和感がある。</p>	<p>義務教育学校では高学年と低学年が世代間交流を行う事で、特に高学年が成長するという報告もある。</p> <p>保健室については1室しかないが、保健教諭は2名配置。低学年はけがなどの対応、高学年は相談事の対応などが多くなると見込む。その場合保健室だけでなく、心の相談室や教育相談室なども活用しての対応を想定。</p>
8	<p>プール施設について、解体して新しくは作らないということであったが、どのような考え方によるものか？</p> <p>維持管理費や教職員の負担という後ろ向きな理由での方針ということであれば残念なこと。</p>	<p>札幌市内全体で、改築する学校については学校プールを整備せず、民間等のプール施設を利用している。</p> <p>実際に行われている民間施設でのプール授業では、これまで学校の先生だけで対応していたところ、プロのインストラクターが教えてくれて、先生は評価などに集中できている。教育内容としてはよりよいものになると考える。</p>
9	<p>青葉地区に住んでいるが、青葉中学校がなくなった場合どこに避難すればいいのか？青葉地区は市営住宅もあり人数が多いし高齢化も進んでいる。</p> <p>避難所の物資はどこに保管されて</p>	<p>第1屋内運動場、第2屋内運動場を含めた学校全体が避難所となる。</p> <p>具体的な避難所の運用としては厚別区や学校等で協議して計画を策定。</p> <p>避難所の備蓄用品については、第2屋内運動場については、地域開放玄関の北</p>

	いるのか。	側、第1屋内運動場については既存位置の運動場を出てすぐの階段横に配置。
10	先生方の駐車スペースなどについてはどのように考えているのか？	駐車場については教職員だけでなく、地区センター、児童会館などを利用する方の駐車スペースについて確保する必要があるという事は認識。現時点で、具体的にここで何台という事は明示できないが、今後具体的な設計の中で検討をすすめる。
11	グラウンドについて、野球など、色々な部活にも対応できるようになるのか？	グラウンドについては、サッカーコート、野球場、トラックなどの整備を想定。現在使っているものについては整備する予定。
12	サイクリングロードの横断については不安が残る。防犯カメラがあっても事故の予防にはならないのではないか。	サイクリングロードの横断については、歩道橋案や地下道案など、頂いたご意見を踏まえて、教育委員会でも何ができるか検討した結果、西側の広い歩道を短距離渡るというのを現在の案としている。 今後も安全対策については継続して検討していきたい。
13	校舎のデザインについて、せっかく義務教育学校という事なので、既存校舎、増築棟の建物を統一感のあるものにしたら良いのではないか？	外壁について、パース案はあくまでイメージ図であり、色などは今後検討。既存校舎は外壁を含め改修から間もないので、増築棟を既存校舎に合わせるなどの方法を検討。
14	中休み、昼休みなどに、子どもたちがサイクリングロードを一斉に渡って、グラウンドに行くという事になるのであれば、朝の通学時の様子	サイクリングロードをどのように安全に渡るのかというのは引き続き検討する。ただし、全学年が一斉に同じ時間に移動するのではなく、時間や学年を割り振

	<p>などから大丈夫という事ではなくて、見直しを含め、より慎重に検討する必要があるのではないかと。</p>	<p>ってグラウンドを利用することが想定される。</p> <p>大人数が移動するという場合でも、全員が一斉に渡るのではなく、列を作って移動する。また、休み時間などについては教職員がついて見守りをするなどの対応も考えられる。</p>
15	<p>増築棟では、屋上に出られるような想定はあるか？</p>	<p>既存棟については屋上に出られるようになっているが、増築棟については安全管理などからも屋上での活動などの想定は現時点ではない。</p>

#### 4 閉会あいさつ

～ (仮称) 厚別南・青葉地区義務教育学校新築検討協議会委員長 青葉中学校長

- これまでにも、義務教育学校の整備を進めるに当たり、保護者の方、地域の方からたくさんのご意見、ご要望を聞かせていただいた。
- 中学校だけだと3年間の係わりであるが、義務教育学校となると9年間の係わりとなる。今後、コミュニティスクールの取組などでも中学校校区単位での取組が色々とある。
- 9年間どのような学校を作るのか、という事については是非自分の所までお声をお寄せいただきたい。今回の説明会でも、これまでの色々な場面でも、自分たちだけでは出てこなかったアイデアを頂いている。
- これだけ熱心な皆様と、小学校と、市教委とも連携して進めていきたい。
- 工事に伴い、様々な制約が出てくるとは思うが、一緒に工夫、検討することで乗り越えていけることも多いと考えている。
- 伝統を引き継ぎながらも、時代に合わせて新しい学校を作っていきたいと考えているので、実際に開校するまではまだ時間がかかるが、皆様にご協力頂きながら進めてまいりたい。引き続きよろしくお願ひしたい。